

## db

### 単一劣性遺伝性の過食性肥満2型糖尿病マウス

- 糖尿病の研究、治療薬などの評価に広く使用されています



C57BLKS/J Iar-+Lepr<sup>db</sup>/+Lepr<sup>db</sup>  
ホモ、黒色 ♂ (左) ♀ (右) 8週齢



C57BLKS/J Iar-m+/+Lepr<sup>db</sup>  
ヘテロ、黒色 ♂ 8週齢



C57BLKS/J Iar-m+/m+  
ミステイ (野生型)、灰色 ♂ 8週齢

- 高週齢の動物をご利用の場合は、お問い合わせください

## 由来

dbマウス (C57BLKS/J Iar -+Lepr<sup>db</sup>/+Lepr<sup>db</sup>) は、1985年、浜松医科大学より動物繁殖研究所に導入されました。

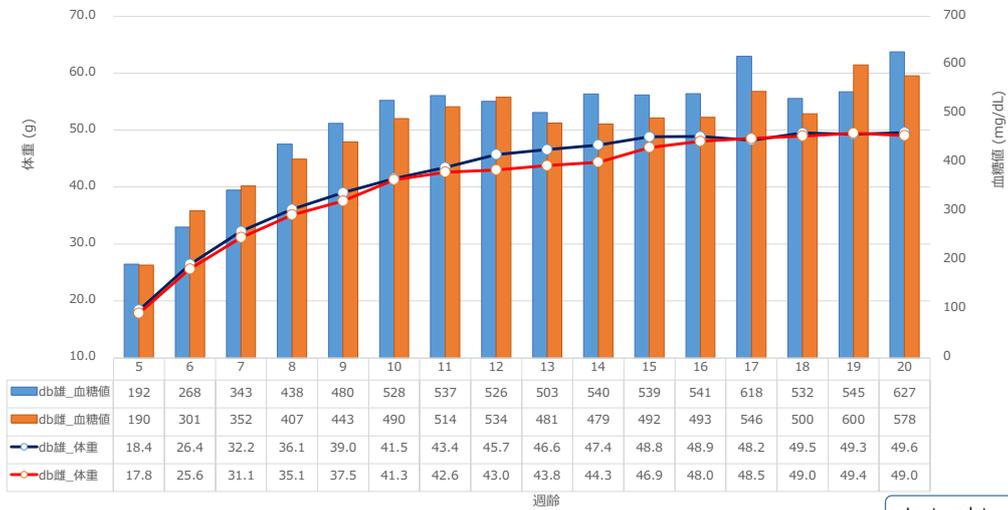
## 特徴・用途

- ヒトの肥満型糖尿病に類似した症状を自然発症する2型糖尿病モデル動物です。
- レプチンレセプターの異常により、過食・肥満を呈します。
- 雌雄ともにホモ個体 (+Lepr<sup>db</sup>/+Lepr<sup>db</sup>, db/db) は生後4週齢頃より肥満が認められ、体重の増加とともに血糖値が上昇し、高血糖になります。
- ホモ個体は6週齢より尿糖が出現し始め、8週齢にはほぼ全ての個体に尿糖が認められます。
- ホモ個体は雌雄ともに不妊であるため、ヘテロ個体の雌雄により交配します。
- 糖尿病の研究、治療薬などの評価に広く使用されています。

体重・血糖値

dbマウス 雌雄 体重、血糖値 (5-20週齢)

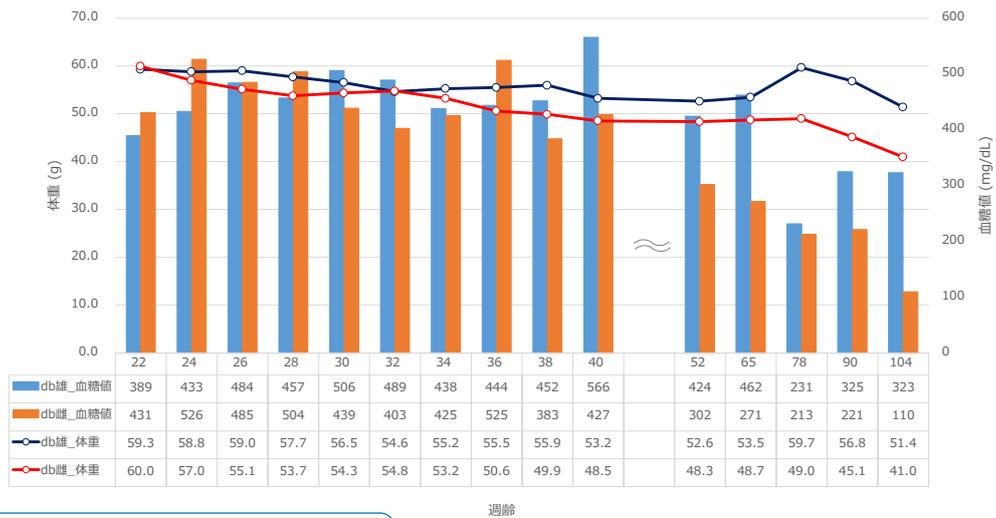
n=各20



Last update: Mar. 2021

dbマウス 雌雄 体重、血糖値 (22-104週齢)

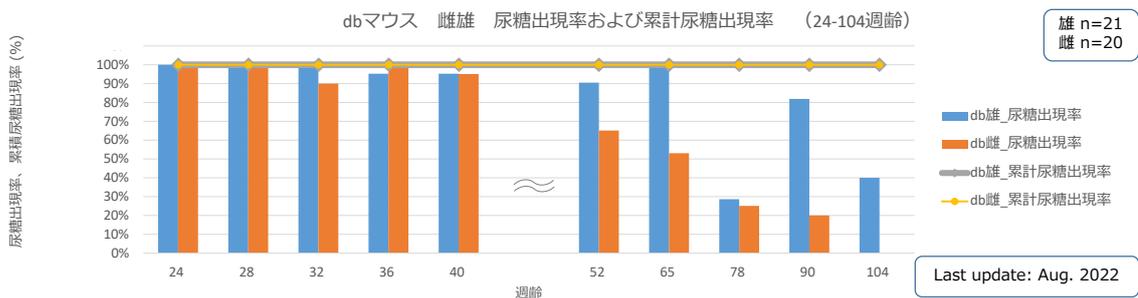
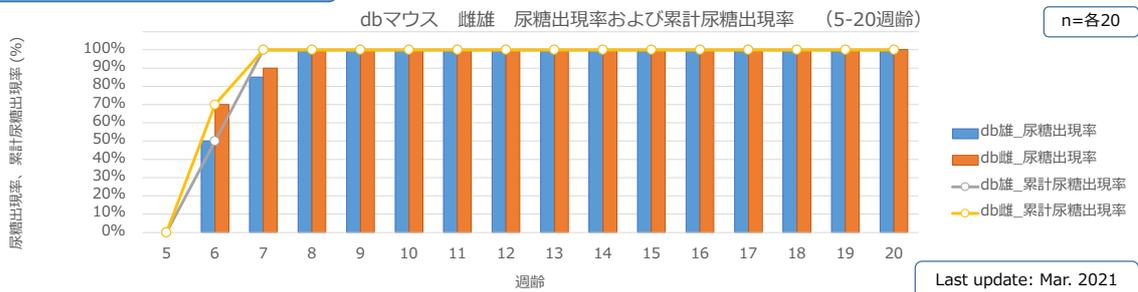
雄: n=21  
雌: n=20



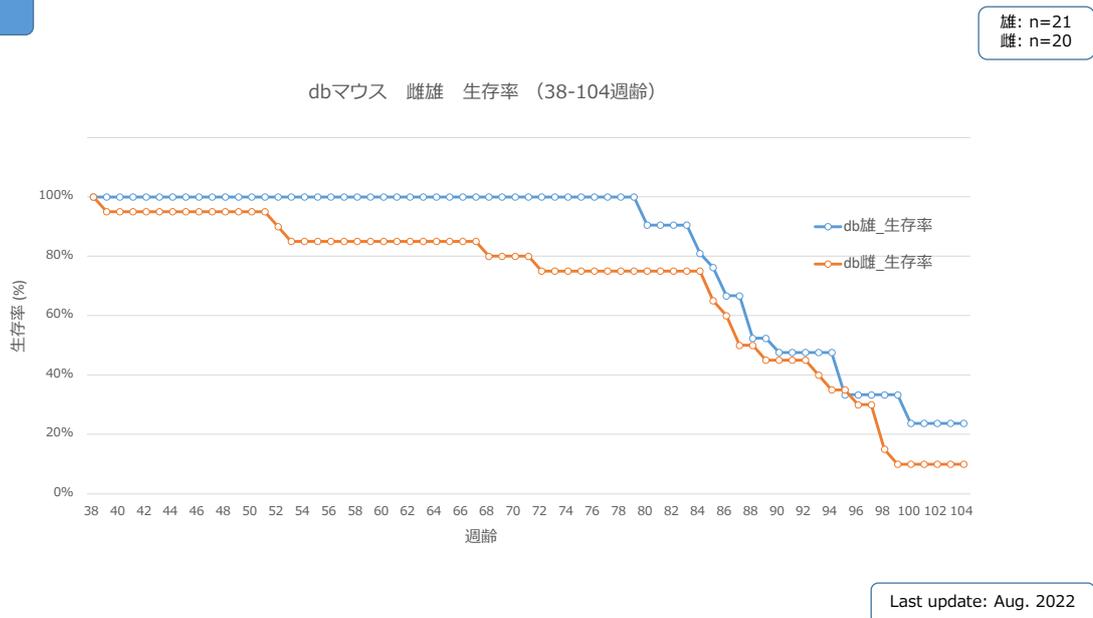
5-20週齢データ : 2019年4月21~26日生まれ  
22-104週齢データ : 2020年3月29日生まれ (雄)  
2020年5月3日生まれ (雌)

Last update: Aug. 2022

尿糖出現率および累計尿糖出現率



生存率



血液生化学値

dbマウス 血清成分の測定結果

Biochemical parameters	12週齢 n=10	
Glucose (mg/dL)	676.5	± 70.3
T-CHO (mg/dL)	181.2	± 11.8
TG (mg/dL)	277.9	± 64.8
HDL-C (mg/dL)	96.4	± 5.4
LDL-C (mg/dL)	16.2	± 1.5

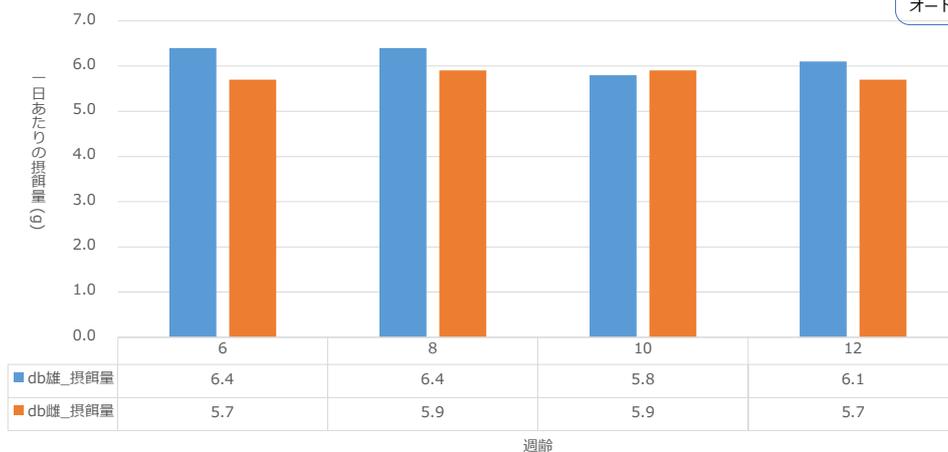
※非絶食

Last update: Jun. 2021

摂餌量

dbマウス 雌雄 摂餌量 (6-12週齢)

n=各11  
飼料: MF (オリエンタル  
酵母工業株式会社)  
オートクレーブ滅菌

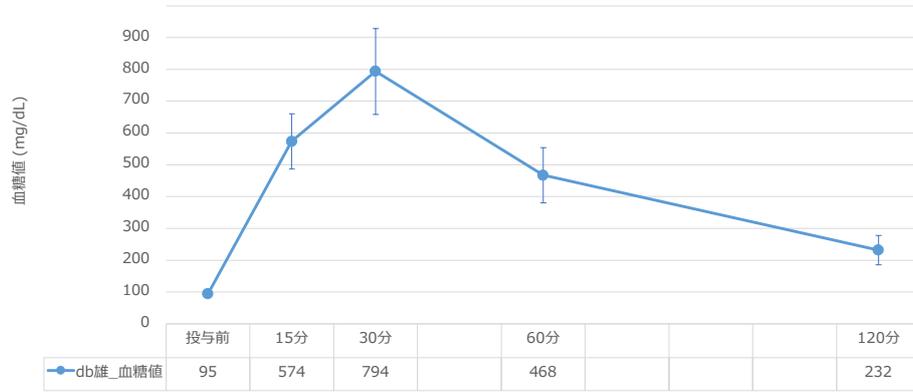


Last update: Mar. 2021

糖負荷試験

dbマウス 雄 糖負荷試験 (11週齢)

n=6



Last update: Mar. 2021